

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	4 月 21 日 (月)	車力 光理

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～自然～ 公園にあるものを調べよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日頃の戸外活動では、草花や木の実を見つけて集めて遊ぶ姿がある。様々な植物や生き物に興味を持ち活動を楽しむ。また園にかえって図鑑や絵本を通してものの名前を知る姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～10:10	・公園にはどのようなものがあるか話し合う。	【環境設定】 ・公園や園庭など、安全に探索できる場所を選定する。 ・公園内のルールを確認する。 ・事前に探索ルートを決め、安全面に配慮する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
10:10～10:30	・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。	
	・公園へ行って話し合ったものがあるか見に行く。	
	・どこの公園に行くか、何を持っていくか話し合う。	【活動使用教材】 ・ポケット図鑑 ・収集したものを入れる袋 ・かばん（図鑑を入れるため） ・スマートフォンやデジタルカメラ ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
	・公園にもっていく図鑑やスマートフォンやデジタルカメラの使い方も話し合う。	
	・公園で興味のある生き物や、植物を探す。	
	・見つけたものを図鑑で調べたり、写真に撮って記録する。	【事前準備】 ・植物が多くある公園や場所を選定する。 ・子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。 ・スマートフォンやデジタルカメラ残量を確認しておく。 ・探究活動に使用する用具（ポケット図鑑、かばんなど）使用方法をあらかじめ設定しておく。 ・絵本の作り方を調べておく。（綴じ方） ・図鑑見本に載せる植物や写真を用意しておく。 ・図鑑用の冊子見本を作成しておく。（3～4ページ） ・図鑑用の台紙、冊子にするための製本テープ ・セロテープやのり ・筆記用具（鉛筆、色鉛筆、カラーペンなど）
	・それぞれ好きなものを探し、調べながら、わかったこと、気づいたことを伝え、会話しながら活動する。	
	・持ち帰ることができるものについては、どのように持ち帰るか考える。	
10:30～10:40	・公園で見つけたこと、感じたことを話し合う。	
	・友達の話聞いてどう思ったかを伝える。	
	・今日の調べたり、記録をとった植物などをどうするか話し合う。	
	・今後、図鑑をもっていこうと提案する。	
	・次回は公園でどのようなものをもっと探したいか、調べたいか考えてみる。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・導入では、公園にはどのようなものがあるかを話し合い、「花」「虫」「きれいな石」など、自分なりに興味のある対象を考える姿があった。 ・公園では、それぞれが気になる草花や虫を見つけ、図鑑で名前を調べたり、撮影したりした。 ・調べた情報や写真は、後の振り返りに活用した。 ・持ち帰りが難しい植物については、その場で写真に収め、観察ポイントを言語化する姿があった。 ・振り返りでは、見つけたものについての感想や、調べた内容を共有し合い、「名前を初めて知った」「色が変わるところがすごいと思った」などの声が聞かれた。	【子どもの姿・声】 ・「この花、見たことあるけど名前わからない。」 ・「この図鑑に似てるのが載ってたよ。」 ・「友だちの見つけたものもおもしろい。ぼくも探したい！」 ・「調べたら『カラスノエンドウ』だった！」と、発見を友達に共有する姿が見られた。 【保育者との関わり】 ・「どんなところにその花があったの？」「どうして気になったの？」と問いかけを通して思考を促した。 ・カメラ等使用前には「何を撮る？」「この写真をどうしたい？」と考えを整理できるように声を掛けた。 ・図鑑の調べ方が分からない子には、一緒にキーワードを探しながら調べる経験を共有した。 ・活動中のつばやきやつながりを受け止め、次への探究へとつながるよう言葉を返した。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
・子どもたちは自然物に対して「なぜ？」「なんだろう？」という気持ちを持って関わる姿が多く見られた。 ・図鑑を通して、自分なりの問いを深めていくきっかけが生まれ、楽しさや満足感を感じていたように思う。 ・活動の中で、保育者が誘導するのではなく、子どもが自分の視点で興味をもつ時間を大切にすることで、他の子の視点にも気づきが生まれた。 ・また、振り返りでは自分の言葉で体験を伝える子が多く、今後の活動にもつながる様子が見られた。	春の気候が良いときに戸外に出かけ、色々な自然(草花、虫、石など)を自ら見つけ、調べたりする中でどんどん興味が膨らんでいく様子があってとても良かった。 図鑑の見方も担任に教わりながらページをめくったりもどったりと、探求心をもってわくわくしただろうと、良い体験ができたと思う。今後もぜひ図鑑を片手に戸外にたくさん出かけ、色々なものを見つけ、子どもたち自身が調べ学んでいって欲しい。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	8 月 7 日 (木)	車力光理

● 実施計画

活動テーマ		
野菜をもっとよく覗いてみよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
普段から行っている食育の一環である三食食品群では子ども達自ら今日の献立の食材について確認し、学びを深めている。お米の稲を育てる中で水の存在が必要不可欠であることを知り、野菜はどのようにして育ち、どんな特徴があるのか図鑑や絵本をみて興味関心を寄せている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00~10:15	・野菜の種類についてクラス全体に紹介し、知っている野菜と知らない野菜について話し合う。 ・観察するときに注目する点や考えを深めることについて話す。	【環境設定】 ・野菜が触れてもいいようにシートを敷く。 ・実際に口にすることが内容に皮がついているままの野菜を使用する。 【準備物】 ・虫眼鏡 ・野菜(20種類) ・切るもの(安全なナイフ) ・ワークシート ・色鉛筆 ・お皿 【事前準備】 ・事前になんの野菜を調べたいか調査する。
10:15~10:50	・実際に野菜を観察する。 ・ワークシートにある野菜のにおい、感触、色、形について考えて記録するように促す。 ・虫眼鏡を使ってさらに細かく見て見る。 ・ほかの班も見たり様々や野菜を見比べたり、考えたことを話し合った利する。	
10:50~11:10	・野菜には食べる部分によって種類分けされることについてはなし、それぞれの野菜が茎、花、葉、実、根のどこに当てはまるか考えてみる。	
11:10~11:20	・発見したことや考えたことを全体の前で発表する。	
11:20~	・片付け	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・事前に調べたい野菜について一人ずつ確認し準備する。 ・調べたい野菜を実際に手に取り、触ったり、においをかいだり、重さを感じたりなどワークシートに沿って質問を考え記録する。 ・考えたことや感じたことを発表したい児に発表してもらう。 ・各班や個々で見たいほかの野菜を観察したり、気づいたことを話し合ったりする。 ・虫眼鏡を用意し、さらによく見る。また虫眼鏡の正しい使い方を伝える。知る。 ・野菜が茎、実、花、葉、根のどの部分に分類されるのかを知る。	【子どもの声・姿】 ・「この野菜はこんな色だよ。」「こっちの野菜触ってみる?」「おんなじ形なのにおいも重さも全然違うんだね」など周りの野菜と自分の調べている野菜を見分けながら楽しんで観察する姿が見られた。 ・野菜によって名前や感じたことが違ったため文字を書いたり、絵を書くことに苦戦している児も見られた。 【保育者との関わり】 ・気づいたことや感じたことを話したり、言葉を拾ったりしながらさらに疑問が深まったり、考えることができるように声掛けを行った。 ・文字や絵を書くことに苦戦している児にはひらがな表などを準備するように促し、書くことに自信を持ったり、自分でできることに達成感を味わうことができるように付き添い、支援するようにした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
・野菜についてどれぐらいの種類の野菜を知っているか、どんな色や形をしているか、好き嫌いなどについても、子どもたちはよく話し合っている姿が見られたため違う野菜にして良かったと感じた。特に好き嫌いの部分では、食べられることが自信に繋がっているようである。今回のテーマは調べることであり、食べることに重さをおかなかつたが、自然に食べることにもつながったように感じた。 ・全員が違う野菜にしたため深く探求することはできなかったが、気になる野菜や果物を次回重点的に調べてもいいと思った。	普段食に関わっている野菜を調べることは、まさに食育にも通ずるところがありましたね。改めて野菜を見たり、匂いを嗅ぐ、触れるという機会は普段中々なかったと思うので、より詳しく観察したりと出来たことと思います。調べていくうちにどんどん子どもたちが気づいていくことがあったと思うので、またそのことについてより深く探求していけると良いですね。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 ぞう 組	10 月 7 日 (火)	車力 光理

● 実施計画

活動テーマ		
身の回りの色や材料の由来に興味を持ち、色の歴史や価値を知る。		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
・絵の具や色水遊びが好きで、日頃から色に親しんでいる。 ・以前の探究活動で、野菜や自然の素材から色が出ることを経験していた。 ・「色はどうやって作られているのか」「何からできているのか」という疑問を持つ姿が見られた		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～	・色についての画像を見て、「この材料からどんな色ができると思う？」と問いかける。	【環境設定】 ・様々な色が身近に見れるように環境を整える。 ・安全に配慮しながら室内を動けるようにする。
10:15～	・花、石、虫など、昔は自然のものが色の材料になっていたことを知る。 ・実際にどの素材からどの色が生まれていたのかを画像で確認する。 ・予想と結果を比べながら、意外な色に驚いたり、不思議さを感じたりする。	
10:30～	・寒色・暖色・中間色について知り、それぞれの色が与える印象について話し合う。	
		【準備物】 ・12色の画用紙セット ・モニター ・色の三原色などの資料 ・色の歴史などの視覚教材 【事前準備】 ・視覚教材の準備

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
・色は絵の具だけでなく、自然の中のさまざまな素材から生まれてきたことを知った。 ・花や石、虫などが色の材料になっていたことに驚きながら、興味を持って話を聞いていた。 ・事前に素材の画像を見て予想を立てたことで、「ここからこんな色になるんだ！」と発見を楽しむ姿が見られた。 ・虫の色については、命を使って色を作っていたことを知り、「かわいそう」という気持ちを抱く姿も見られた。 ・寒色・暖色・中間色について学び、それぞれの色が持つ印象や感じ方について言葉にすることができた。	【子どもの声・姿】 ・「え、これからこの色になるの？」と驚く声が聞かれた。 ・「思ってた色とちがう！」と、予想との違いを楽しんでいた。 ・「虫から色をとるのはかわいそう」と、命について考える発言があった。 ・「この色はあったかい感じ」「こっちはつめたい感じ」と、色の印象を言葉で表現していた。 【保育者との関わり】 ・子どもたちの驚きや疑問を受け止めながら、色の由来や歴史を分かりやすく伝えた。 ・命や価値について感じた気持ちを大切に、否定せずに共有できるよう援助した。 ・色の感じ方には個人差があることを伝え、多様な意見を認め合えるようにした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
・色の由来を知ること、普段何気なく使っている色に対する見方が変わっていた。 ・意外性のある素材から色が生まれることに、強い驚きと関心を示していた。 ・命をいただいて色が作られていたことに心を動かされ、価値について考える姿が見られた。 ・色遊びが好きな子どもたちにとって、知識と感覚の両方を楽しめる探究活動となった。	普段何気なく使っていたクレヨンや絵の具の「色」について、また意外な物から色が生まれていることを知ってとても驚いた事だと思います。そして虫から色を作っていたことを知り「かわいそう」と命を大切に思う気持ちにも気づくことができましたね。また種類ということも分かれることも知り、これからの絵画や製作の色選びについても今後も活動に大きく関わっていくことと思います。 子どもたちにはそれぞれが思う色で、思い描いて行って欲しいですね。